

かい よう
海 陽



8⁷⁴月号
公民館報

海陽町教育委員会
2018年8月1日発行



海陽幼稚園児藍染体験

「人権力」ですみよい町に！ 多様性のある社会を考える

海陽町立図書館長 佐藤和久

多様性とは

「多様性を生かした職場」「多様性教育」「社会の多様性」など、「多様性」という言葉が幅広い分野で使われるようになってきました。

では、多様性とはどのようなことを指すのでしょうか。辞書には「いろいろな種類や傾向のものがあること」「変化に富むこと」とあります。社会的に考えれば、「人種、民族、文化、宗教、階級、集団、年齢、性差、価値観、感情などの種類や内容の幅の広さ」と言えるかもしれません。

多様性の大切さ

多様性はそれがうまく生かされることにより社会が豊かになります。人々の生活の中に多様性があることで生活は刺激的で魅力的になります。

社会福祉が進んだ国では、ノーマライゼーションの考え方が浸透しています。そこでは、障がいがある人ない人、さまざまな人の存在が尊重され、安心して生きがいを持ってくらせる社会が構築されています。そして、そのような社会の根底には「多様性」を認めるといふ考え方がしっかりと

存在しています。

ビジネスや経営の世界においては、「ダイバーシティ」という言葉がよく使われています。「ダイバーシティ」とは、直訳すれば、「多様性」を意味しますが、ビジネス界では、個々人の様々な違いを尊重し受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとする考え方のことです。

今、企業の世界では、個人の多様な特性をうまく活かさないで生き残っていけないようになってきています。100人いれば100人の働き方があるはずですが、仕事内容だけでなく、

場所、時間等、個人に合わせた多様な働き方のパターンを設定することができません。企業が働き方に対して多様性を取り入れ、個人の特性をうまく活かすことにより、豊かな発想が生まれ、企業全体の生産性も向上するということです。



多様性が苦手？

な日本人

日本では昔から「和」を尊ぶ文化が根付いていました。

「和」を尊ぶこと自体大変良いことなのですが、同時に個性を埋没させてしまつては意味がないように思います。

「和」の意識が良くない方向で表れたのが江戸時代の部

落差別です。江戸時代のムラ社会では、「自分のムラ以外
のよそ者を排除する」という
行動が起こりました。

現代でも「人と違うことを
すると疎(うと)んじられる」
「空気が読めない人はのけ者
にされる」「変わったことを
言うと白い目で見られる」な
ど多様性からかけ離れた集団
意識があるのは確かです。

わたしたちは、知らず知ら
ずのうちにもこのような集団意
識、つまり世間や他人の基準
に自分を合わせてしまおうと
する意識に陥る傾向がありま
す。

そもそも日本人は、対立す
る異なる意見を言い合うこと
が苦手(習慣がない)である
ように思います。「争っては
いけない」「対立は関係を悪
くする」「事を荒立てたくな
い」などと考えてしまうのか

もしもありません。日本人に多様
性が浸透しない原因の一つは
このあたりにあるのかも知れ
ません。

多様性が生かされた 社会を作るために

多様性が受け入れられる社
会は、人権意識の高い社会だ
と思います。同質性の高い日
本人にとって、多様性を受け
入れることはハードルが高い
のかもしれない。しかし、
多様性に乏しい社会は、世の
中の流れからすると遅れた社
会になることは確かです。

多様性のある社会を実現す
るためには、まず自分と違う
相手の様々な状況・実情を受
容し共感することが求められ
ます。それとともに、意見の
対立を恐れず歓迎する意識も
つくらねばなりません。

ともすれば、意見の対立は

争いを起こすなどマイナスに
働きます。しかし、意見が合
わないことは常にあることで、
そこからプラスに転化する必
要があります。

一人ひとりの個性が尊重さ
れ、能力が生かされることに
より社会はより創造的・発展
的な方向へと導かれるので
はないでしょうか。

金子みすゞは大正時代から
昭和にかけて活躍した詩人で
す。彼女の詩の中に、多様性の
大切さを表した「わたしと小
鳥とすずと」があります。こ
の詩の中にある「みんなちがっ
て みんないい」の思いや考
え方が多くの日本人の中に広
がっていくことを願います。



LGBTマーク



文化協会祭 芸能大会



民踊



箏



三味線



レクダンス



合唱

5月13日(日)、海南文化館ホールにおいて、文化協会による芸能大会が催されました。悪天候にもかかわらず、約200名の方が来場しました。みなさん日頃の練習の成果を発揮し、すばらしい発表の場となりました。

— 博物館雑記 2 — 鏡

「鏡よ～鏡よ～鏡さん、〇〇中学校で一番美しいのは誰？」
鏡は答えます。「あなた、あなたと同じ3年C組の〇〇さんです。〇〇中学校では〇〇さんが一番美しい！」「だよね～」鏡は決して嘘をつかない。童話の中の白雪姫はその美しさのせいで継母に命を狙われそうになるが、私は誰にも狙われる心配もない。その当時、思春期の乙女としてはなんとも言えない現実に涙した日々が、今となっては懐かしい。

子供の頃は、鏡の中に映る自分に対し何の不足もなかったのに、何時の頃かしら鏡の中の自分と対峙するたびに、一抹の憂いを覚えるように・・・。

「美しくありたい、可愛らしくありたい」若い乙女ならばみながそう願う。そして少しでも自分を輝かせるために毎朝毎晩鏡に向かう。この世の中に、鏡は無くてはならないものであるかのように、自宅にも街にも職場にもあなたを映す鏡が溢れている。

現代世界に満ち溢れている鏡だが、大昔はどうだったのか？
鏡が誕生する前は、自分の姿を水たまりなどに映してみていたようで「水鏡」というらしい。この後に鑄銅製（ちゅうどうせい）の鏡が現れ銅板の表面を研磨し「ぴかぴかに光らせ」顔を写したという。その特徴は背面に美しい文様を鑄出（いた）していることである。当時の女性は、自分の顔を銅板に映し何を思っていたらう。きっと古鏡は、今と同じく「自分の内面を、自分の心」を映しとっていたのではないだろうか？

さて、日本に中国から鏡が伝来したのが弥生時代（竪穴式住居の時代）その後、古墳時代に鏡は数多く日本に入ってきたが、当時の鏡は、「姿や形を映すもの」というより、「お金持ちの宝とか、祭事の器」として大切に使われていた。平安時代になると姿見として使用され「和鏡（わきょう）」という日本らしい草花・鳥や蝶など風物の模様が背面に入った鏡が作られた。鏡師としては「藤原光長」が有名だ。そして室町時代の後期になると「柄鏡（えかがみ）」も登場してくる。

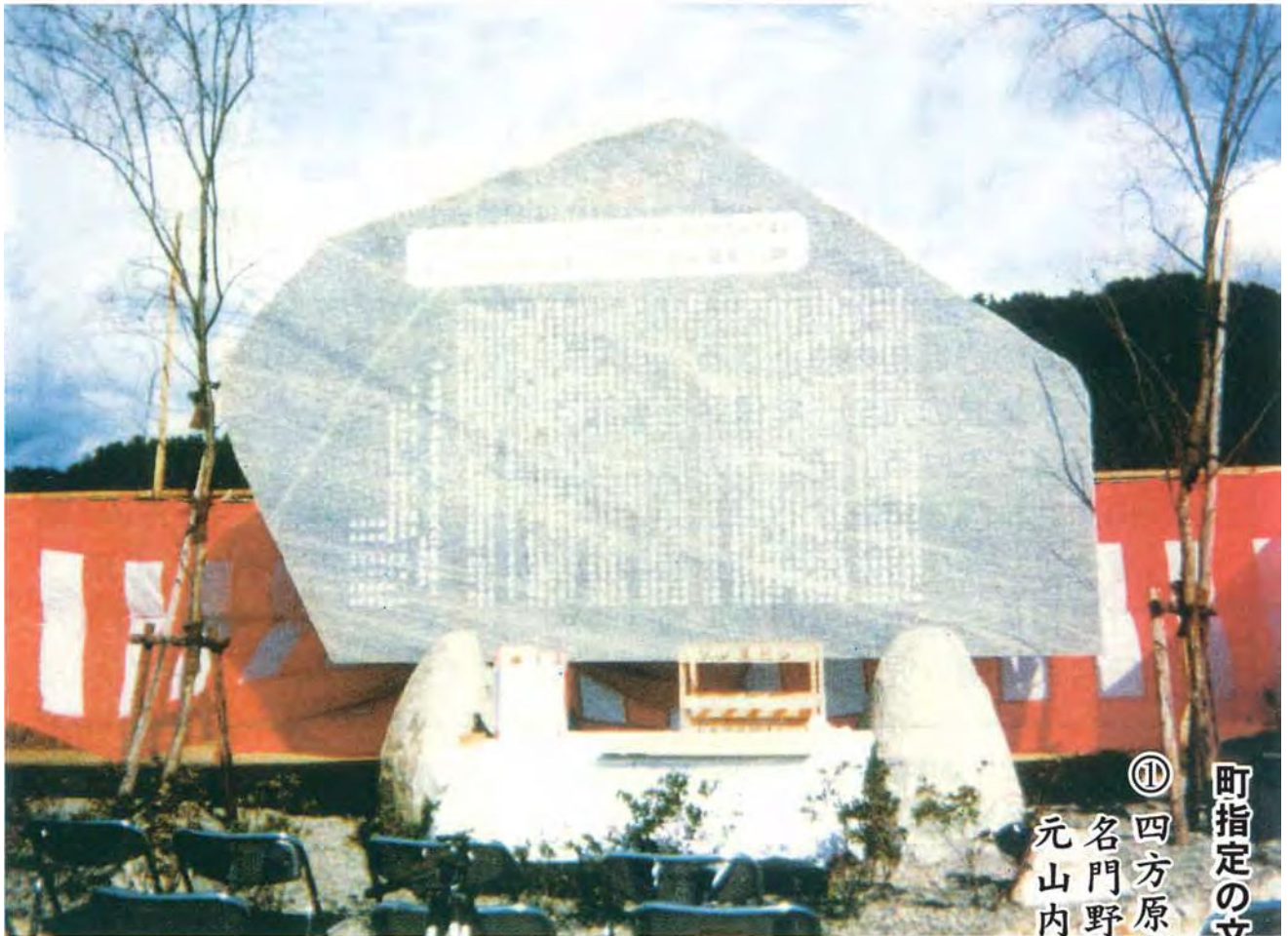
海陽町立博物館には、桃山～江戸時代の一品が揃っております。鯉の滝登り、末広りの扇、富士山、難を転じると同音の南天など江戸時代に好まれた「吉祥文様」の鏡をご覧ください、当時を偲んでいただければと思います。



わが町の史跡探訪

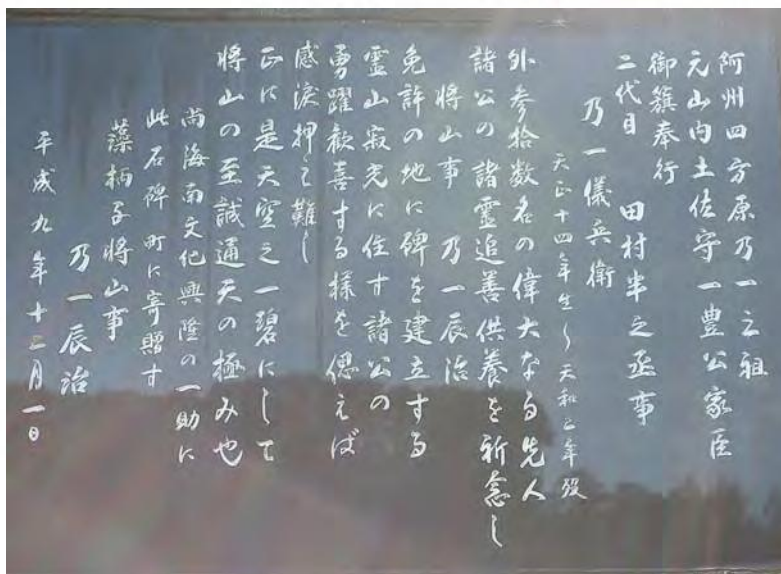
山樋建設（株）相談役、乃一辰治さん自力建立の2基の石碑が平成13年7月7日、町指定有形文化財に指定され郷土海陽の史跡の目玉となりました。

ところ：海陽町四方原 免許用水路の辺



町指定の文化財名

㊦ 四方原開拓の偉大なる先人
名門野村氏一族郎党三十六人と
元山内家臣御簀奉行
田村半之丞由来之碑

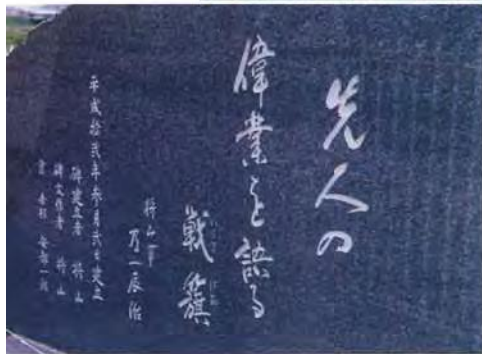
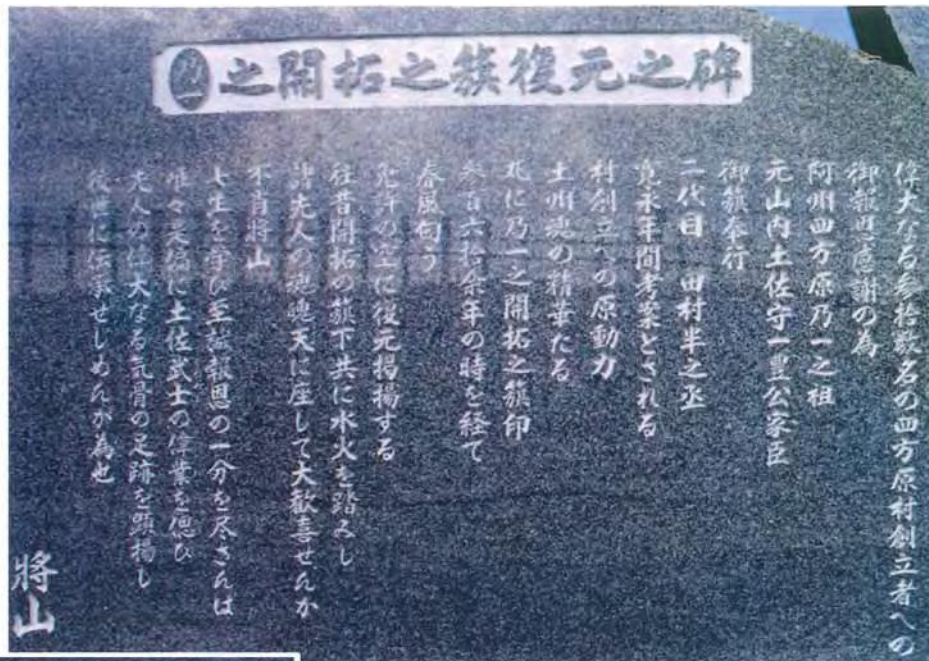


上記写真 石碑の裏面

阿州四方原乃一之祖
元山内土佐守一豊公家臣
御簀奉行
二代目 田村半之丞事
乃一儀兵衛
天正十四年生く天和二年歿
外参拾数名の偉大なる先人
諸公の諸霊追善供養を祈念し
将山事 乃一辰治
免許の地に碑を建立する
霊山寂光に任す諸公の
勇躍歡喜する様を思えば
感涙押之難し
正に是天空之一碧にして
将山の至誠通天の極み也
尚海而文化興隆の一助に
此石碑町に寄贈す
藻桐子将山事
乃一辰治
平成九年十二月一日

町指定の文化財名

② 乃一之開拓之旗復元之碑



上記写真 石碑の裏面



村創立への原動力 乃一之開拓の旗印
(旗のサイズ 縦150cm×横100cm)



裏面に指定年月日を刻んだ
町指定有形文化財之石柱

土佐藩職制表

諸格式

御家老

同嫡子格 長袴格

前方柴田左門長袴着ヲ
以出仕被仰付候由の事

御中老

同嫡子格

イ左右

御旗奉行

(二代目 田村半之丞)

御仕置役

御側御用

イ御旗格

御仕置格

御扨從組頭御奏者番

御奏者番八御
小姓組頭へ付

御馬廻組頭

外輪御物頭

イ外輪

御近習鉄炮

組

御留守居物頭

逼塞侍支配

御持弓支配

御持筒支配

御鎗奉行

御使母衣

御柄弦 御指物

御歩行頭

イ下

御物頭格

イ上

御相伴格醫師

イ御膳番

御小扨從 御膳番ハ格別
二不出也

中御扨從

大御扨從

御馬廻

御小姓格

新御扨從 イ同格

末子類 御馬廻末子

新御小姓末子

御留守居組 イ同末子

白札 分限二

不入也

郷士

御用人

御用人格

御歩行

御歩行格

御留守御歩行

イ御坊主ノ次ニアリ

御持弓筒

御役者

御坊主

組外

諸職人

御番人

下横目

古支配

下代

下代類 他支配

組抜

足輕

御物頭格

中学校郡総体

【野球】 6月24日(日) 会場…穴喰県民グラウンド

リーグ戦 穴喰・海陽0 - 4 日和佐
穴喰・海陽1 - 2 牟岐



【サッカー】 6月24日(日) 会場…海陽中学校グラウンド

■優勝 … 海陽中 海陽中 2 - 0 日和佐中

【バスケットボール】 6月23日(土) 会場…海陽中学校

■男子 準優勝…海陽中 リーグ戦 海陽中 1勝1敗 穴喰中 0勝2敗
■女子 優勝…海陽中 リーグ戦 海陽中 2勝0敗 穴喰中 0勝2敗



【バレーボール】 6月23日(土)・24日(日) 会場…日和佐中学校

■優勝…穴喰中 リーグ戦 4勝
■準優勝…海陽中 リーグ戦 3勝1敗



【卓球】 6月23日(土) 会場…穴喰中学校

<p>■男子団体(リーグ戦)</p> <p>優勝…海陽中 2勝</p> <p>準優勝…穴喰中 1勝1敗</p>	<p>■男子個人戦</p> <p>優勝……早川 逸輝 (海陽中)</p> <p>準優勝…乃一 滉典 (海陽中)</p> <p>3位……東 駿平 (海陽中)</p>	<p>■女子団体</p> <p>優勝…海陽中 海陽中 3 - 0 由岐中</p>	<p>■女子個人戦</p> <p>優勝……乃一 奈桜 (海陽中)</p> <p>準優勝…木元 光 (海陽中)</p> <p>3位……北川 千郁 (海陽中)</p>
---	---	--	---



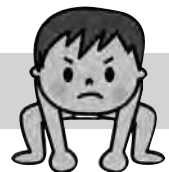
【剣道】 6月23日(土) 会場…牟岐中学校

■団体(女子)準優勝 … 海陽中 海陽中 2 - 3 牟岐中
■女子個人戦 3位…鳥澤 明未(海陽中)

【相撲】 6月27日(水) 会場…牟岐中学校

■団体
1年準優勝…穴喰中 2年優勝…穴喰中 準優勝…海陽中 3年3位……海陽中

■個人
1年準優勝…佐藤和樹(穴) 3位…西内晃翔(穴) 2年優勝…小山真輝(穴) 準優勝…松島唯央(穴)
3年優勝…乃一陽大(海) 準優勝…松本直大(海) 3位…高間晴暉(海)



第13回 海陽町体協軟式野球一般大会

大会におきまして、地元チーム同士の決勝戦となり、「海部クラブ」が優勝、「A-anbai」が準優勝しました。



優勝された「海部クラブ」のみなさん



準優勝された「A-anbai」のみなさん



6月9日(日) 宋喰小学校グラウンド

宋喰公民館交流グラウンドゴルフ大会



※初心者の方
大歓迎です!

当日は暑いくらいの晴天に恵まれ、45名の参加者が楽しく汗を流しました。今後も宋喰公民館行事として随時実施していく予定ですので、宋喰地区にお住まいの方は是非お気軽にご参加ください。

穴喰俳句

六月例会より

海は眼の高さまであり夏燕	寺崎照代
迷い根のたどりつきたる春の土	長岡達江
五月晴旅行の雑誌見てるだけ	梅田千恵子
寝ころんで聞く「のど自慢」風薫る	朝賀ます美
母の日の墓参手にする赤き花	外山千佳
交差する飛行機雲や大夕焼	樽井みつ子
母さんと呼んでみる日のカーネーション	山本球子
ホトトギス半分でいい伝えたい	新井駿也
衣替え思い出多くはかどらず	陸田ヨネ子
この町の何かが好きで燕来る	新井久実
声高く帰りくる子や麦の秋	元木朱子
夏近しネットで探す旅の本	川野佳代
十二分すすみし時計梅雨に入る	間戸谷恵子
獣道らしき道あり夏木立 <small>けものみち</small>	元木栄子
憲法第9条のこと油虫	木下野生

海南俳句

二つ三つ小もの縫いあげ梅雨に入る	津川須美江
旗たてて回転寿司の初鯉	谷口洋根子
もの忘れ気にかかりつつ梅雨に入る	新居利之
遠来の客の連れくる走り梅雨	谷 律子
山渡る風は若葉を波打たせ	森口豊子
植田風吹き上げてくる無人駅	廣瀬克子
なるようになると眠れど明易き	鍛冶崎郁夫
松籟や海へ傾く松の芯	田中たち子
芍薬や受け取る顔を輝かせ	叶岡陽二
手の平の蛍火一つ消えて闇	佐野政一
姉いもと山羊をむかえにれんげ田へ	武知陸子
長袖を後悔したる旅薄暑	平道はつ子
お揃いのレインブーツや梅雨に入る	北川 花
田植機の仕事の出来は曲りなし	吉田保則
五月風青きを揺する音もして	山本達平
五月晴遠き峰々妍きそう	岳山祐弘
裏庭やそこは一面母子草	橋本幸子

海部ひまわり俳句

短夜や田廻り終えて空白し	津田 一
集中を欠く立ち話藪蚊来て	西本公明
羅着 <small>うすものき</small> ことばで綴る別世界 <small>つづ</small>	榊原礼子
泰山木百花咲かせて僧の逝く	南 歌子
(城満寺大槻住職逝く)	
記念樹ももはや緑陰をなすほどに	松田嘉子
釣竿の少年走る夏の川	元木美枝子
夏至の日や追憶ながき重ねけり	佐藤美代子
青田風畦道通り墓まいり	穴戸道子
女教師の声はつきりとグラデオラス	岡 育代
朝一に会う人々に風薫る	川野照美
花好きで花丸印の最終章	村田恵巳
無差別に部屋掻き雑ぜる扇風機	佐藤 薫子
磁気弾くヒッグス粒子五月知る	穴戸保夫
これからはどこにいたって一緒だね	村田恵里佳

海南短歌会

春風は緋牡丹の花なでゆきて薄絹のごとき花びら散りぬ

蛭子美恵子

報恩の詠歌を唱え父母の彼岸供養に面影の顯つ

大久保スエ子

風止みてふらりと歩く道の端にたんぽぽぽぽぽと一つ土谷公代

夜の波満ちたる頃に梟のくぐもる声の天神の森

桑村未貴子

冬衣ぬぎて身軽く清明の朝をいでゆく花を愛でつつ

細野綾子

穴喰短歌会

君逝きて残せし歌を写しつつ写経の如くこころ鎮める

大黒千枝美

はらはらと桜ちる道に佇びみて歌人の影の忍ばる夕ぐれ

桑野亀乃

待春の梅花聞く紅梅忌震潮記また読み返しみる

三野みよ子

突然に天に召されし君ならば別れの一葉風にさすらふ

舛谷恂子

楽しげに語りし君の情熱や夢追いつつも逝くが悲しき

山崎千栄子

網代川柳五月句会より

年並みに勝てぬ体の独り言

太田一洋

体重を支え切れぬと足悲鳴

井上可楽

生き残るために乗らねばならぬ風

風呂谷いずみ

追い風に乗りそこなつた風がいる

石垣小道

人のいい笑顔が乗った口車

黒岩一平

ちよつと待てあわて急いで待つまさか

福岡純山



お知らせ

盆踊り（慰霊踊り）



盆踊り（慰霊踊り）は、その名前のとおりお盆の時期に死者の供養のために行われます。今では、J-POPが音頭に使われることや、イヤホンと小型ラジオを使った無音盆踊りなど様々な進化を遂げています。

海陽町の盆踊りは地元の有志によって昔ながらの音頭と、誰もが気軽に楽しく参加できる盆踊りのスタイルを守り続けています。

お盆休みはお墓参りと盆踊りを通して、今の自分に命をつないでくださったご先祖様へ想いを馳せてみてはいかがでしょうか。



開催日：8月18日（土）

時間：午後7時30分～午後10時

場所：奥浦町民グラウンド

（旧海部中学校グラウンド）

雨天時の場合は奥浦町民体育館



参加のお申し込みは申し込み用紙をお送りいただくか、事務局（海陽町立博物館：Tel 73-4080、Fax 74-3504）まで「参加者氏名」と「電話番号」をご連絡ください。

★個人参加・連での参加大歓迎★

受付は当日（8月18日）まで受け付けています

参加者さまもよ～
みんな来てね！



8月号

公民館報

海陽町教育委員会
2018年8月1日発行